

一般社団法人交通環境整備ネットワーク主催  
国土交通省関東運輸局後援



セミナートレイン  
-デハ101を語る-

上毛電気鉄道は、養蚕が盛んであった上毛地域とその輸出を行なう東京、横浜との交通便利を図る目的を持って大正13年に免許を取得し、昭和3年11月に中央前橋・西桐生間25.4キロを開業しました。

赤城山南麓を走る地域の足として活躍する同鉄道に乗り、その過去と現在を探訪します。

- 期 日：平成27年9月19日（土）13時中央前橋駅集合・受付
- 参加費：無料、ただし、赤城南麓1日フリー切符（1,300円）をお買い求めください。
- 参加方法：どなたでも参加できます。
  - ①ホームページ (<http://ecotran.or.jp>) から事前予約を行なってください。予約票を発行します。
  - ②当日は、中央前橋駅改札口前受付で予約票と赤城南麓1日フリー切符を確認させていただきます。
- 参加募集人員：35名

スケジュール

13:00 中央前橋駅集合、受付終了後大胡駅まで電車にて移動  
大胡電車庫においてセミナー

プログラム

1. あいさつ並びに鉄道の現状  
上毛電気鉄道株式会社社長 古澤和秋氏
2. 上毛電鉄の歴史  
東武博物館名誉館長 花上嘉成氏
3. 鉄道への支援活動 2015年の公共交通をつくる  
会会長・上毛電鉄友の会副代表 佐羽宏之氏

その後デハ101にて西桐生駅まで乗車  
登録有形文化財の西桐生駅を見学

16:10 終了解散



セミナー会場

参考

- ・輸送人員は昭和40年度958万人がピーク。その後輸送人員は減少に転じ、平成24年度158万人。平成10年には群馬型上下分離方式の導入により支援措置が講じられている。
- ・デハ101は昭和3年川崎車輛製造、開業当時の貴重な車両。

